

2013年度

愛知大学地域政策学センター・日本スポーツ産業学会共催講演会

スポーツによる地域活性化の方案をめぐって



趣旨：

スポーツが持つ地域活性化や産業誘発効果が注目されている。愛知県は、2013年度から全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を育成・誘致し、地域活性化につなげる取り組みを推進しており、2014年にはスポーツコミッションの設立に向けた検討を行うこととしている。また、愛知大学は2011年4月に「地域を見つめ、地域を活かす」を理念に、「地域政策学部」を設置し、同時に地域連携と地域研究の拠点となる「地域政策学センター」を立ち上げた。他方、日本スポーツ産業学会は、東海圏における研究活動や講演活動をより活性化させる方針を打ち出している。このような現状を踏まえ、スポーツ行政担当者やスポーツ産業従事者をはじめ、スポーツ研究者や学生、地域住民の皆様が「スポーツによる東海地域活性化」を考えるきっかけとなることをねらいに、本講演会を開催するに至った。

日時：2014年 **3月25日(火)**
13:30～17:50 (12:30 から受付開始)

会場：**愛知大学豊橋キャンパス 6号館 610教室**
(JR 豊橋駅乗り換え、豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」下車すぐ)

プログラム：(総合司会：元 晶煜 愛知大学地域政策学センター副センター長)

講演1部 (13:30～15:10)

- 1 | 開会挨拶：鈴木 誠 (愛知大学地域政策学センター長)
 - 2 | スポーツイベントによる地域活性化①
— 愛知県の取り組みについて
講演I (45分) | 成瀬 一浩 (愛知県地域振興部地域政策課主幹)
 - 3 | スポーツイベントによる地域活性化②
— 名古屋ウィメンズマラソン開催による地域振興
講演II (45分) | 古田 真一 (中日新聞社事業局スポーツ事業部長)
- 休憩
(15:10～15:30)

講演2部 (15:30～17:30)

- 4 | Jリーグと地域活性化
— Jリーグ・名古屋グランパスエイトのホームタウン活動について
講演III (45分) | 松本 高德 ((株)名古屋グランパスエイトホームタウン担当部長)
- 5 | 地域活性化を目指すスポーツ事業の課題と大学の役割
講演IV (45分) | 新井野 洋一 (愛知大学地域政策学部長)
- 6 | 日本スポーツ産業学会の東海圏における今後の展望及び連携について
講演総括 (20分) | 武藤 泰明 (早稲田大学スポーツ科学学術院教授)
- 7 | 閉会挨拶：北村 薫 (日本スポーツ産業学会運営委員長)

※参加方法(無料) 参加ご希望の方は、3月24日(月)までに、FAX・E-mailにて、お申し込みください。

お名前 (スポーツ産業学会会員有無)	(区分： 学会会員 ・ 非会員)
ご所属 (勤務先・在学先・その他)	
ご連絡先 (TEL・FAX・E-mail いずれか)	

お申し込み・お問い合わせ先：愛知大学地域政策学センター

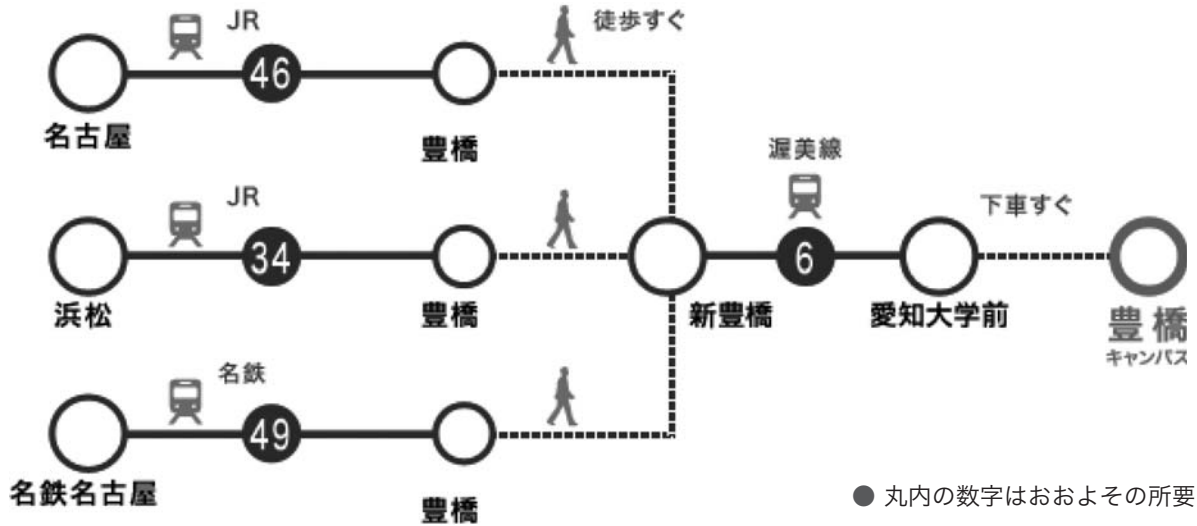
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 (TEL/FAX: 0532-47-4586 E-mail: hkawai@aichi-u.ac.jp 担当: 河合)

会場までのアクセス

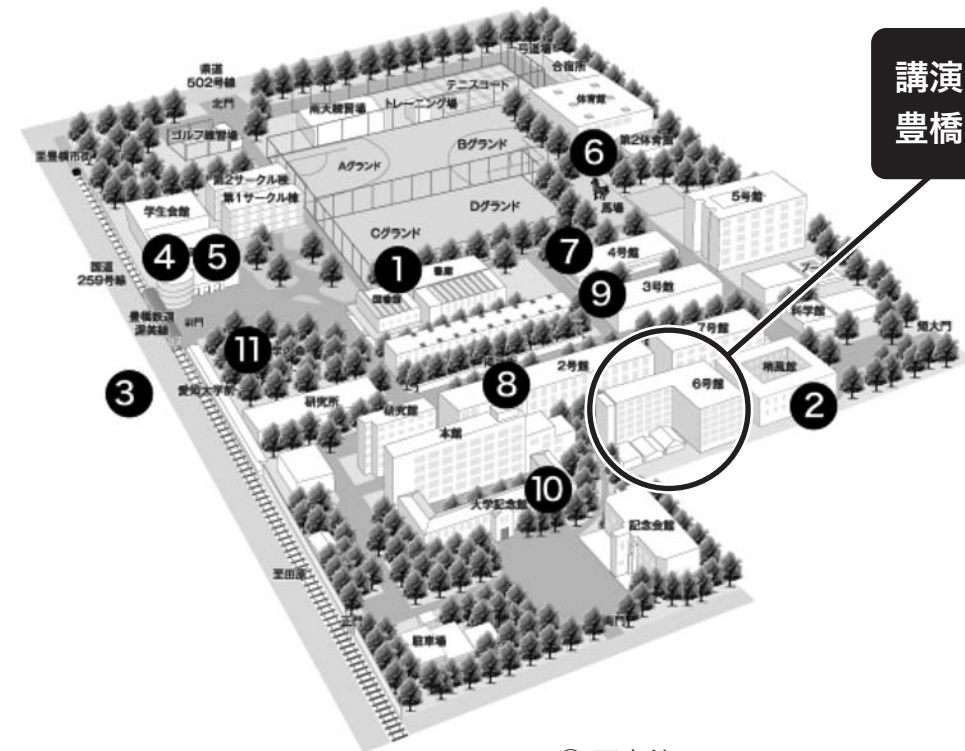
愛知大学 豊橋キャンパス

所在地：〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1

(JR 豊橋駅からの乗り換え豊橋鉄道渥美線 新豊橋駅発 → (6分)「愛知大学前」下車すぐ)



キャンパスマップ



講演会会場
豊橋キャンパス6号館610教室

- ① 図書館
- ② 梢風館 (女性学生専用棟)
- ③ 愛知大学前駅
- ④ 逍遥館
- ⑤ 食堂 (カフェテリア・ベル)
- ⑥ 馬場
- ⑦ 情報メディアセンター (ICT施設)
- ⑧ メディア芸術スタジオ
- ⑨ LL 自習室
- ⑩ 大学記念館
- ⑪ 哲学の森